

文部科学省における家庭教育支援の取組

～すべての親が安心して家庭教育が行える地域づくりに向けて～

家庭と地域・学校をつなぐ「家庭教育支援チーム」を中心とした支援体制づくり

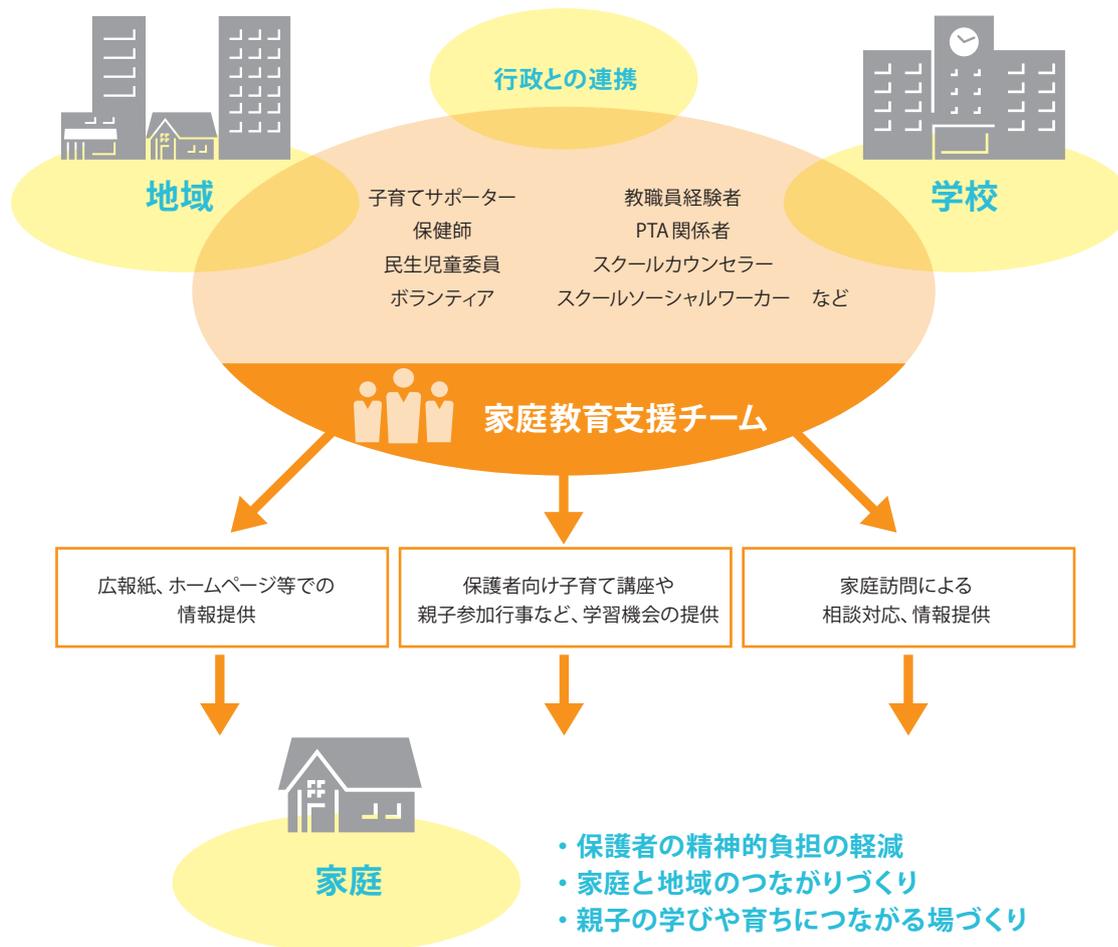
地域の子育て経験者や民生委員・児童委員など、地域の身近な人たちと専門家の連携による「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、学習の機会や地域の交流の場等になかなか参加できない家庭に対する支援を行っています。

家庭教育支援チームってなあに？

身近な地域で子育てや家庭教育の相談にのったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会、地域の情報などを提供しているチームです。子どもの生活習慣や親子のコミュニケーションの大切さ、思春期の課題、不登校など様々な子育てに関する悩みを聞いたり、親子の学びや育ちを支援します。

どんなところで活動しているの？

子どもや保護者の方にとって、身近な存在となるよう、学校や公民館などを拠点に活動しています。また、幼稚園や保育園、小・中学校、保健センター、児童館、企業など様々な機関とも連携して支援活動に取り組んでいます。



保護者の学びや育ちを応援する学習講座型支援

学校の保護者会など多くの親が集まる機会を活用した家庭教育学級や交流会の開催など、保護者の学びや育ちを応援する取組が行われています。

「講座」ってどんなことをするの？

- **講演会、学習講座**
生活習慣や親子のコミュニケーション、携帯電話やインターネット使用に関するルールづくりなど、多くの保護者の興味・関心が高いことや課題となっていることなど、テーマに応じて子育て経験者や専門家などの講師を招いて話を聞きます。
- **体験教室**
料理教室や親子遊びなど、親子でふれあいながら学べる場を提供します。
- **交流会**
保護者が集まってお互いに悩みなどを情報交換し、不安の解消や子育てに関する学びを深めます。



入学前の保護者向け講座の様子

どんなとき、どんなことをやるの？

- **学校の入学前説明会や保護者会**
入学や進級にあたっての心構えや、学校生活についてなど、保護者の疑問を解消し、不安を和らげます。就学時健診や保護者会に合わせて開催するなど、参加しやすいように工夫します。
- **地域の公民館や子育てサロン**
保護者や子どもが自由に参加できるようなサロンを開催するなどして、日頃の悩みや不安などを意見交換することにより、子育てに関する学びにつなげます。また、保護者同士の交流により、仲間づくりにもつながります。
- **企業での出前講座**
企業に出向いて講座を開催することで、働く保護者の学習機会となるだけでなく、企業の家庭に対する意識啓発にもつながります。



子育てサロンでの様子



子どもの生活習慣づくりを推進する取組「早寝早起朝ごはん」国民運動

子どもが健やかに育つためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠など、子どもの基本的な生活習慣の確立が重要です。そこで、平成18年度より、文部科学省と「早寝早起朝ごはん」全国協議会との連携により、社会全体で子どもたちの生活習慣を育成するため、「早寝早起朝ごはん」国民運動を行っています。

様々なコンテンツで普及啓発を行っています。



紙芝居



ブックレット



のぼり



「早寝早起朝ごはん」でエコ生活！
キャンペーンチラシ

学校・家庭・地域の連携による家庭教育支援の取組

身近な地域において、すべての親が家庭教育に関する学習や相談が出来るよう、地域人材の養成・活用、学校等との連携による持続可能な仕組みをつくり、地域全体で家庭教育を支援します。

子育て経験者など地域の多様な人材

参画

地域人材の養成、学校等との連携により、持続可能な仕組みを形成

子育てサポーターリーダー等の養成

地域における支援活動全般の企画・運営や関係機関・団体との連携の推進に積極的に携わるなど、家庭教育支援の中心的人材を養成。



学校を活動拠点に支援内容をコーディネート

家庭教育支援チームの組織化

子育てサポーターリーダーや子育てサポーター・民生委員などの地域の人材と保健師などの専門的人材の連携により「家庭教育支援チーム」を組織化。

家庭教育を支援する様々な取組を展開

学習機会の効果的な提供

就学時健診や入学説明会、保護者会、参観日等多くの親が集まる機会を活用して学習機会のコーディネート等を行う。

状況に応じた情報提供や、訪問による相談対応

悩みや不安を抱える親や無関心な親、仕事で忙しい親など、様々な家庭の状況に応じた情報提供や相談対応を行う。

地域 SNS 等を活用した支援

地域 SNS などを活用し、10代など若い保護者や、引っ越してきた保護者など、様々な家庭教育に関する「コミュニティ」を設け、親同士の交流の促進や学習機会への参加促進等を行う。



中学校内での親子携帯講座

家庭教育支援の取組による効果

- ・講座や保護者同士の交流の機会への参加などにより、学びや育ちにつながる。
- ・家庭教育支援チームに悩みを聞いてもらうことで、地域とのつながりができ、安心して子育てができる。
- ・学校、家庭、地域が連携することで、地域全体での子育てや教育がより充実したものとなる。
- ・子どもの生活習慣の改善や、不登校などの課題の予防や早期対応につながる。

子どもたちのよりよい育ちへ

平成23年度全国家庭教育支援研究協議会について

文部科学省では、地域住民、学校、行政(教育・福祉関係機関)、NPO、企業等との協働による、地域における家庭教育支援の活性化を図るため、これらの関係者が一堂に会する機会を設けて、これまでの研究成果事例や地域・企業等が実践する効果的な取組事例等を活用した研究協議を行い、全国的な啓発を行っています。

平成23年度も、以下のとおり各回ごとにテーマを設けて2回開催し、基調講演やシンポジウム、効果的な取組事例等を活用した研究協議会を実施します。

第1回

テーマ

震災を越えて・・・今、みんなでできること、あなたにできること ～社会全体で子どもを育てるために～

日時：平成24年2月12日(日) 場所：宮城県仙台国際センター 大ホール他

主催：文部科学省、共催：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会ほか
後援：厚生労働省

趣旨

本年3月11日に発生した東日本大震災により、家族のきずなや地域全体で子どもを育てる大切さが、今、改めて再認識されている。また、被災地や転居者等の受け入れ自治体においては、家庭や地域環境の変化等により、悩みや不安を抱える保護者や子どもへの心のケア、生活習慣づくり支援をはじめ、中長期にわたるきめ細かな支援が求められている。こうした中、急な環境変化や困難な環境下における子育て家庭への支援のあり方について、今、地域が、学校が、社会ができることを考え、被災地での取組に役立てていくとともに、緊急時だけでなく、日頃から、社会全体で子育て家庭を支え、全国各地の様々な状況下においても、子どもたちを健やかに育ていけるよう、求められる地域づくり、社会づくりについて考える。

第2回

テーマ

共に育み、共に育つ。そして、学びを支え合う ～学校・家庭・地域において我々は何ができるか～

日時：平成24年2月17日(金) 場所：滋賀県大津市 大津プリンスホテル

(『ファザリング全国フォーラム in しが』の分科会の1つとして開催)

主催：文部科学省 共催：滋賀県教育委員会

〔ファザリング全国フォーラム主催：ファザリング全国フォーラム in しが実行委員会〕
〔後援：内閣府、文部科学省、厚生労働省〕

趣旨

近年、男性の育児参加が増えてきており、「イクメン」という言葉も広く知られるようになってきているが、子どもが乳幼児から学齢期、さらには思春期へと成長するにつれて、子どもの育ちに応じた関わり方も重要となってくる。昨今、地域の希薄化が叫ばれる中で、学校や地域においては、PTA活動や子ども会など従来の団体活動に加え、「おやじの会」やNPO活動など様々な活動をととして、地域ぐるみで子どもたちの教育を支える取組や気運の高まりを見せている。様々な家庭環境の子どもたちが増えてきている中、私たち大人が子どもたちのために何ができるか、地域や学校での活動にどのような関わりが必要とされているのか。地域の一員として活躍の場所と出番をつくることについて、それぞれの立場からの意見や共通理解を深め、社会全体で子どもの教育を支える方策を考える。